

# Frente

三重県男女共同参画センター

フレンテみえ

フレンテとはスペイン語で  
「前向き」という意味です。

vol.58  
2014.7

特集

## オトコのイクジって？

ファザーリング全国フォーラムinみえ  
三重県ってこんなことやっています！

裏表紙シリーズ

## いま、取り組むべきこと

～地域の防災力向上のために～

エッセイ

レディオキューブFM三重

西本亜裕子 アナウンサー

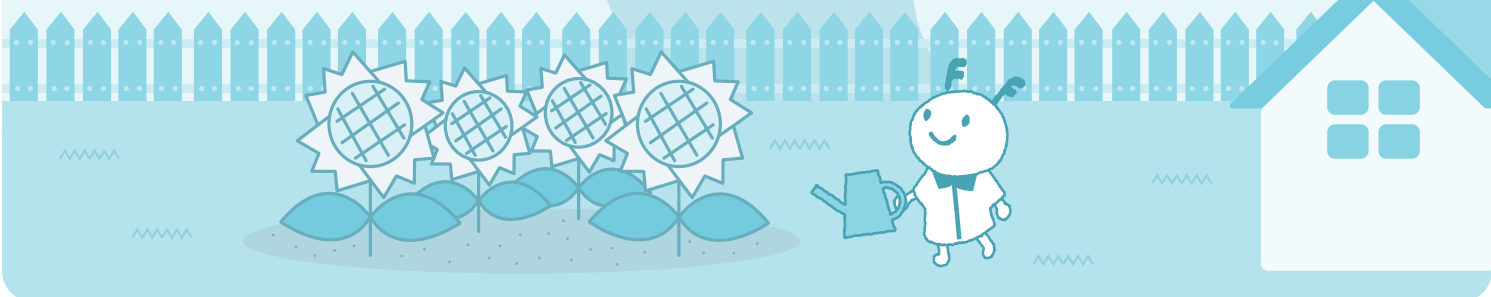
「はぴはぴエッセイ」

# 「オトコ・カジ・イクジ」

Report!

男女共同参画強調月間ff (フォルティッシモ)

- ダイアモンド☆ユカイ  
トーク&ミニライブ
- フレンテまつり  
× HAPPY MEETS × ママまつり



# ダイヤモンド☆ユカイ トーク&ミニライブ

6/8(日) 三重県文化会館 中ホール

今年度の「男女共同参画強調月間ff(フォルティッシモ)」ファンファーレ・イベントは、ロックシンガーダイヤモンド☆ユカイさんが登場!冒頭は鈴木英敬三重県知事も参加し、男性の不妊治療の実態や日々のイクメンぶりについて、NPO法人ファザーリング・ジャパン事務局長の徳倉康之さんと対談いただきました。

## オトコの不妊治療

**徳倉** ご自分の不妊を知ったときは?

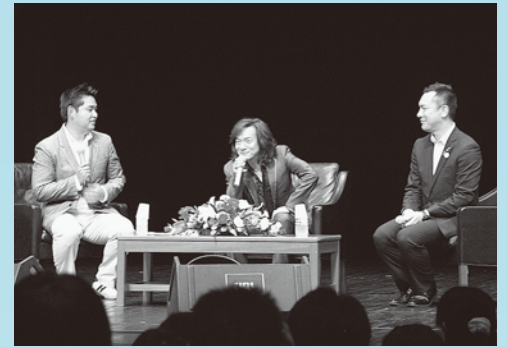
**ユカイ** 知った時は衝撃で声がでなかった。ずっと自分をヒョウだと思っていたけど、鏡を見たらネコだと思った(笑)。それくらいの衝撃を受けたね。

**徳倉** そういう時こそ夫婦のコミュニケーションが必要だと思いますが。

**ユカイ** 自分はもう子どもが持てないと思っていた。妻は「ユカイさんが子どもみたいな人だから」と言ってくれたが、余裕がなくて優しい言葉も受け入れられなかった。

**徳倉** 男性の不妊治療と言っても様々ですよ。

**ユカイ** 俺のように無精子症だと手術をしなければいけない。恐怖感はもちろんあった。男って情けないんだと、前日はまるで死刑執行のような気分で。さっき知事も言ってたけど女性の不妊治療の方がはるかに大変。かなりの痛みを伴う治療もあるし、更年期のような症状がでたりもする。俺たち夫婦の間では離婚寸前までいったり、子どもがいなくても2人でどう生きていこうかと話したり…。そこで妻がもう一度挑戦したいと言って、娘を授かることができた。今でも娘の笑顔を見ると意味もなく涙が出てくる。



セリから登場した3人。  
知事からは三重県の取組についても  
お話しいただきました。

## 子育てって楽しい!

**徳倉** ユカイさんは1女2男のお父さんですよ。私も娘がいるのですが、本当にかわいいですよ。

**ユカイ** 女の子はほんとにかわいいし楽。次が双子の男の子だったから、宇宙人が出てきたかと思うくらい大変で(笑)。

**徳倉** 少し私の話をしますと、2009年初めて育休を8か月取得しました。当時は本当に先駆けでしたから、その年リーマンショックが起こったこともあり、近所では「徳倉さんリーマンショックの影響でクビになったらしい」と噂が立ったり、ママたちからは妻に逃げられたと思われていたのか声をかけてもらえなかったり(笑)。まあ『イクメン』という言葉が流行語を取ってここ数年は変わりましたが。そういう世の中の変化の中で、仕事への向き合い方とか家族への向き合い方とか変化はありましたか?

**ユカイ** それは人間日々成長してるからね。娘が生まれたことで、どんなに夜が遅くても、必ず朝起きる朝方ロッカーになった。妻が双子を産むときに入院しなければいけなくて、娘と一緒に寝ていたんだけど、そんなパパ大好きな娘でも、ママを探して夜中に『ママ』と呼んだりする。それを見ると「ああ、男って弱いな」と(苦笑)。

**徳倉** 自分も妻が不在で子どもたちと2泊3日過ごした時、大人と話したのは宅配便のお兄ちゃんだけ。それに気づいたとき、こういう生活が続くと育児ノイローゼになるなと感じました。

**徳倉** ユカイさん得意の子どもとのふれあいは?

**ユカイ** 最初は…沐浴かな?子どもが生まれたころから沐浴だけは誰にも負けない!と。なんでも一点突破なんで(笑)。はじめは首がすわってないし怖くて。失敗して沐浴禁止令を出されたんだけど、「沐浴だけは俺にやらしてくれ!」と頼みこんだ。そこから這い上がって、そして『沐浴キング』の称号を得た(笑)。それからは、ただ入れているだけではなく子どもが気持ちいいようにって考えたり、今は一緒にお風呂に入っていて、もう何でも来いって感じ。

**徳倉** 実は、日本の男性が育児を学ぶ機会は欧米諸国に比べるとほとんどないんです。母親は妊娠した時に母子手帳をもらい出産前に母親学級で学ぶ。現在は市区町村によっては両親学級を開いていますが、男性の学ぶ機会は5コマある中の1コマで、15分程度の沐浴体験とか妊婦

体験などにとどまっています。産後の産褥期の妻にどんなケアが必要か、女性の体がどう変化していくのか学ぶ機会はないんです。

**ユカイ** 身体のバランスが変わるもんね。

## 妥協じゃなくて理解すること

**徳倉** 困難を乗り越えた家庭は、夫婦でよく話し合ったり、夫婦のパートナーシップ、絆が強いなと感じます。ユカイさんはどのようにご夫婦でコミュニケーションを取られていますか？

**ユカイ** なかなか難しいけど…。家はいま動物園状態です。子ども3人だと一人は死角に入ってしまう。自分は家にいないことも多いので、妻は本当に大変だと思うんです。そんなことも含めて、お互いにわかっていながら足の引っ張り合いになるときがある。そんなときに思うのは、口で言うのは簡単なんだけど、妻に対して「妥協じゃなくて理解すること」だと考えている。

**徳倉** なるほど。理解するために工夫されていることは？

**ユカイ** もめごとまでは行かないけど、そうなったときには自分を見つめ直す。今まで自分にとってダイヤモンド☆ユカイ、歌っていくことが人生の全てだった。でも今は家族ができて、妻や子どもがいなかったら明日生きていく意味もない。そう思うと、どんなに大変でも自分の気持ち次第でいくらでも変えられるんだと、そういうことをたまに考えている。

**徳倉** 実は、日本では制度は整っていても風土が伴わず進まないことがあります。男性の育児休暇取得や女性の社会進出も、女性はこれ以上頑張れないところまで頑張っている、男性の働き方が長時間勤務のままだと女性が働き続けられない。ワーク・ライフ・バランスと最近よく言いますが、男性は早く帰れないとおっしゃるんです。でもそうではなく、やってみると意外とできることが多いんです。先ほどの不妊治療にしても、もっと男性は声に出して言うべきだと思います。仕事でも生活でも、男性女性ではなく、夫婦の役割分担、パートナーシップで話し合っていくことが大切ではないかと考えています。

## 楽しくポジティブに！

**徳倉** 家族ができて、アーティストとして変化を感じるころはありますか？

**ユカイ** 187度位変わりましたね。今まではドクロとヒョウ柄の世界に生きてきた自分が、子どもを授かって、そのころでは思いもしなかった世界が、こんなにキラキラして楽しいものだったんだと感じることができた。長女がくまのプーさんを見て笑うんだよね、それを見てプーさんってすていなと。今ではプーさん大好きですよ(笑)。子どもの目線になったら違うものが見えてきた、今では自分が楽しんでいる。

**徳倉** 男性は育児より家事をやった方がいいと思うんですよ。家事はマイナスをゼロに戻すことが多く、しんどいことが多い。ファザリング・ジャパンではいいとこどり育児はやめて家事をしようと言っているんです。これで家庭内の雰囲気は良くなればいいんじゃないかと。

**ユカイ** それは大きいね、機嫌が良くなるかな。

**徳倉** それが大変なら裏ワザがあります。食洗機を買うとか、ロボット掃除機を買うとか(笑)。

**ユカイ** なるほどね(笑)。

今は育児だけど今度は教育になっていくよね。いま日本の教育はどうなってるんだろうと、そういうところも踏まえてやっぱりお父さんお母さん大変だなと。諦めていたところに子どもを授かることができたからには、自分ができることは全部やってあげたいと思いますよね。

**徳倉** 今日のユカイさんのお話を伺っていると、いろんなハードルを越えていく中でも、チャレンジをしようとか楽しもうとかポジティブな気持ちを感じますが。

**ユカイ** まさにその通りで、高杉晋作の言葉『おもしろき こともなき世を おもしろく すみなすものは心なりけり』じゃないけど、自分の心次第で面白くも、「ダイヤモンド☆ユカイ」にも「ダイヤモンド☆フユカイ」にもなるということです(笑)。今までじゃ考えられなかったけど、ファザリング・ジャパンみたいに、パパたちが立ち上がって子育てとか教育とかに力を入れている。時代とともにファッションも食べ物も育児も変わっていく。人間はいまを生きているわけですから、楽しく前向きに、年をとっても妥協ではなく理解ってところにたどりつけたらなあと思っています。

さらにトークの後には、ユカイさんに「君はともだち」と初披露の「ムクロジの木」、2曲を歌っていただきました。お越しいただいた皆様にも、ユカイさんの前向きで何事も楽しむ姿勢を感じていただけたトーク&ミニライブとなりました。



**ダイヤモンド☆ユカイさん**  
ロックシンガー

1962年東京生まれ。1986年、伝説のロックバンド「RED WARRIORS」のボーカルとしてメジャーデビュー。人気絶頂期の1989年わずか3年の活動で日本武道館公演を最後に解散。その後、「ダイヤモンド☆ユカイ」として、ソロ活動を開始する。現在は音楽活動を中心に舞台・映画・バラエティー番組に出演するなど幅広く活動する。

私生活では47歳にして初めてパパになる。2011年に自身の不妊治療と夫婦の愛と葛藤の日々を綴った「タネナシ。」を発売し大きな反響を呼んだ。同年11月には双子の男の子も誕生し、現在1女2男の父親。



とくくら やすゆき  
**徳倉 康之さん**  
NPO法人ファザリング・ジャパン事務局長

1979年12月27日生まれ、香川県出身。法政大学法学部法律学科卒業後、約10年間大手日用雑貨メーカーで広域量販法人営業を担当。在職中、男性社員として初めて09年に8ヵ月、11年に2ヵ月の育児休暇取得を機に、FJ(ファザリング・ジャパン)会員を経てFJ事務局に入局。事務局長として主に法人会員担当、企業との協働案件・講演・イベントのプロデュース担当。「笑っている父親が社会を変える」をミッションに、ソーシャルビジネス営業として企業とNPOの協働に力を注ぐ。現在3児の父。



Report!

# 「フレンテまつり」×「HAPPY MEETS」 ×「ママまつり 2014 in 三重」 6/7(土)~8(日)

今年で11回目を迎えるフレンテまつりは、フレンテみえ登録団体による活動発表・交流の場です。

今年は「子育て世代に向けての男女共同参画の発信」をテーマに、更に幅広い世代のみなさんに楽しみながら家庭や育児、男女共同参画について新しい発見をしてもらうようと、全国縦断型イベント「HAPPY MEETS×ママまつり」との初コラボで開催!

日本財団によるポストツリーでママやパパの生の声を集め、また鈴木英敬三重県知事や前葉泰幸津市長から、パパの育児参加についてのメッセージがありました。

お天気が心配されましたがなんとか持ち直し、たくさんのご家族、お子様連れの方の参加があり、にぎわいのある2日間になりました。

初めてフレンテみえの催しに参加された方も多く、ご来場者からは「楽しかったのでまた来たい」「(もっと外に出て)人との触れ合いをしたくなった」などの感想をいただきました。

参加団体からも「今までのフレンテまつりとは違った層の、子育て世代の方にも情報発信ができた」「活気があってよかった」などの声が聞かれました。

※フレンテみえでは、男女共同参画に対する意識を持って活動されている団体の支援を目的とした登録制度を実施しています。詳しくはお問い合わせください。



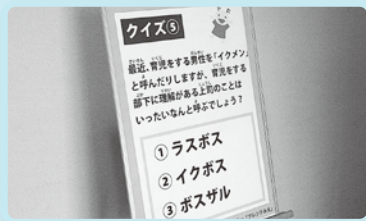
## 大盛況だったフレンテまつり

2日間ともたくさんのお客様で賑わいました。若いママやパパ、子どもたちの姿もたくさん見られ、ベビーマッサージやフリーマーケット、野菜販売から健康チェックまで、様々なブースが展開されました。



## ママとパパの生の声!葉っぱのツリー

日本財団によるポストツリープロジェクト。葉っぱの形をしたカードに家事・育児、働くこと等、ママとパパの声を書いてもらい、三重の生の声がたくさん詰まった葉っぱのツリーが完成しました。



## 男女共同参画に関するクイズラリーも!

会場各所に男女共同参画に関するクイズを置き、全問挑戦してくれた人には豪華プレゼントをお持ち帰りいただきました。



## 知事・津市長のツーショットも実現!

お二人から男性の育児参加についてコメントがありました。この後ステージでは、ゆるキャラの登場も!



## さるかに合戦をDVの話に変身させた紙芝居も。

「さるかに合戦」のお話を題材に、DV(ドメスティック・バイオレンス)について考えてもらう紙芝居。パパもママも子どもたちも、熱心に聞いてくれました。

主催:三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/一般社団法人Stand for mothers/NPO法人チルドリン



# 特集 オトコのイクジって？



## パパを楽しもう！～ファザーリング全国フォーラム in みえ～

“育児参画で男を磨こう！”をテーマに、NPO法人ファザーリング・ジャパン、四日市市、三重県などが中心となり、6月27日(金)・28日(土)の2日間、四日市市文化会館で「ファザーリング全国フォーラム in みえ」が開催されました。2日間に渡って13の分科会とシンポジウムが行われ、「男性の育児参画」はもちろん、「仕事と介護の両立」、「女性の仕事復帰」についてなど、多様なお話を聞くことができました。また、会場では「学生だけのミーティング」も行われました。その他、“三重県発信”の分科会として「四日市市のパパサークル『パパスマイル四日市』によるワールドカフェ」や「働きやすい職場づくりに定評ある県内企業の社長の講演」、そして三重県知事と県内4市長による「『みえの育児男子』推進三重県共同宣言」なども行われました。新しい男性の生き方、社会のあり方について、熱く楽しく提案された2日間でした。

## 三重県ってこんなことやっています！

三重県では、平成26年度の県政の重点テーマとして少子化対策を掲げており、その取組の柱として、男性の育児参画を推進するための「みえの育児男子プロジェクト」に取り組んでいます。

このプロジェクトでは、家族や夫婦相互の理解のもと、子どもの成長を重視した男性の育児参画を「育児男子」と位置付け、子どもの生き抜く力を育てる「育児男子」が活躍するよう、ステキな育児を実践している男性を表彰する「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」を実施しています。また地域や企業で男性の育児参画をけん引する「育児男子アドバイザー」の養成、子育てと仕事の両立を進めている企業の取組を水平展開するための「企業子宝率調査」の実施や、パタニティ・ハラスメント防止対策の働きかけなど、さまざまな取組を進めています。

## 男性の育児は女性の活躍につながる！

ダイヤモンド☆ユカイさん、ファザーリング全国フォーラム、そして三重県の取組み、今は男性も『カジ・イクジ』の時代なのですね。男性の家事・育児参加は女性の活躍につながります。性別に関わらず、お互いができることを協力していければいいですね。



## \\ 次はこんなセミナーやります! //

### 企業を成長に導く職場づくりセミナー

仕事と育児を両立できる職場環境の実現は、企業の成長にもつながります。各種メディアでもご活躍の小室淑恵さんを迎え、マタニティ・ハラスメントやパタニティ・ハラスメントのない職場づくりにも必要なワーク・ライフ・バランスについて、経営戦略の視点から考えるセミナーを開催します。  
※こちらは三重県主催のセミナーです。

日時 9月4日(木)13時～15時  
場所 三重県勤労者福祉会館 6階講堂  
(津市栄町1丁目891番地)  
対象 企業経営者、人事労務担当者等  
内容 講演「社員と企業を元気にするワーク・ライフ・バランス」  
パネルディスカッション「子どもと企業を育てる職場づくり」  
定員 先着100人(下記まで事前申込要)

問い合わせ・申込先  
三重県環境生活部 男女共同参画・NPO課  
TEL059-224-2225 FAX059-224-3069 E-mail iris@pref.mie.jp



5月10日～6月21日

## 女性のための自己主張トレーニング

フレンテみえ相談室には、多くの女性から対人関係での悩みが寄せられます。

今年もフレンテみえではこのような女性たちの声を受け止め、自分の思いを自分に合った言葉で、過不足のない伝え方を学ぶ「自己主張トレーニング」を開催しました。

女性は小さい頃から「でしゃばってはいけない」という価値観の下で育てられることが多く、自分の気持ちや考えを伝えることが苦手と感じる人が多くいます。しかし、「人と違っていい」「自己表現してもいい」「ありのままの自分でOK」など誰もが持つ「心の基本的人権」についてのお話やワークから、自分を抑えつけてきた価値観からの解放を感じた方が多くいたようです。

また、受講生それぞれが自分自身の言えなかった日常の具体例について、言えない理由、言えない時の気持ち、相手への伝え方を考え、実際に言ってみるトレーニングを行いました。参加者からは、「伝え方のポイントが分かった。これから実践していきたい。」などの声をいただきました。



5月14日～6月18日

## 女性のための自己尊重トレーニング

家族や周りの人を優先して、自分のことはいつも後回し。そういう女性は多いのでは？ありのままの自分を認め、信頼する力を育てる人気講座です。毎年開催していますが、今年も定員の倍を超える申込みがありました。

自分自身の感情に目を向ける、自分のとらわれていることに気付く、思い込みや心のクセを確認し自分自身を見直してみる、自分の楽しみや喜びを大切にす等、さまざまなワークを通して、参加者一人ひとりが『自分らしく生きる』とは何かを考えていきました。

参加者からは、「グループで話をして、みんな気持ちが違うんだと分かり、もっと自分の考えや思うことを感じようと思った。人と比べてへこまなくてもいいのかな、と少し気が楽になった。」「自分の中のとらわれに気付くことで自分の望んでいることがどこから来ているのか分かって良かった。」「色々な方に出会えて色々な思いを聞けて、自分だけじゃないんだ!!と書いて心が軽くなりました。」といった声が聞かれ、温かい雰囲気と高い出席率のうちに全5回が終了しました。



6月7日～7月13日

## 三重県内男女共同参画連携映画祭2014

すっかり初夏のイベントとして県民の皆さまに定着してきた「三重県内男女共同参画連携映画祭」も今年で8年目！今年は、5つのセンターと23市町が連携し、県内各地22か所で上映いたしました。

映画から男女共同参画を知るきっかけにと始まった映画祭ですが、各会場では地域で男女共同参画の活動をされている方によるブレトークや、映画に関連するアフタートークなども開催されました。また各市町の男女共同参画の取組を、市長・町長からご来場のみなさまへお話いただきました。

映画を通して、男女がともに生きるヒントを見つけていただけたでしょうか。

来年はどんな映画が上映されるでしょう。今からどうぞお楽しみに！





# はぴはぴエッセイ！ Happy×Happy=Essey!

前回から始まったHappy×Happy=Essey！執筆は仕事も育児もパワフルなママ・アナウンサー西本亜裕子さん。今回は西本さんのそのパワーの源について語っていただきます。

連載  
第2回

## 『過去も現在も、 働くママはパワフル?!』

「西本さんって、パワフルですね～」

と言われることが少なくないのですが、私の原動力は、やはり、子どもたち！というのも、今春行われた「第3回お笑いフェスティバル ご当地よしもと新喜劇」で、生まれて初めて吉本新喜劇の舞台に立たせていただく機会があったのですが、その際に、プロの構成作家の方が、今回出演の弊社の全アナウンサー5名にそれぞれキャッチフレーズを考えて下さっていて、その中の私のパートが、『お酒が大好きな2児のママ。子どもたちの笑顔とお酒があれば怖いモノなし！西本亜裕子です！』だったんです(笑)お酒の部分も含めて、図星だったので、我ながらこの台本を読んだ瞬間笑ってしまいました。

同世代のワーキングマザーと話していると、「下の世代から見た私た

ちって、『しんどそう』『私にはムリ』と、ネガティブで諦めモードで捉えられてるんだって…」と残念な話を聞くこともあって…、「ママであることが、新喜劇ではセリフになるんだよ！」(元関西人の私にとって、吉本新喜劇に出演できただけで感無量でした！)と、思ったものです。

5歳(♂)4歳(♀)の2児のママである私はまだまだですが、何世代も以前の先輩女性の中には、今では想像もつかないほどワーキングマザーへの風当たりが強かったであろう時代に、子育てしながら職業婦人をつけた方々がたくさんいたと聞きます。日本の歴史に残る女性の一人、後に、日本で最初の男女平等教育と男女共学を成立させた、与謝野晶子さんは、12人の子どもをもうけたものの、夫・鉄幹氏の収入があてにならず孤軍奮闘し、生計を支えたそうです。(三重徳島県人会の席上、徳島出身、三重在住の“日本文学研究家”河原徳子さんから教えていただきました。)

時代は変わっても、ママたちの“はぴはぴ”の源は、我が子の存在なんでしょうね。



にしもと あゆこ  
西本 亜裕子

レディオキューブFM三重アナウンサー。奈良県出身、三重県津市在住。37歳。2児のママ。2度の産休を経て、現在、開局以来初の産休取得ママアナウンサーとして、パワフルに仕事と育児を両立中。

趣味は、ゴルフ、食全般(美味しいもの、お酒も大好き)。また、eco検定、フードアナリスト、防災士の資格も取得。

担当番組:『はぴはぴ子育て』(毎週金曜10:00~10:55) プロデューサー、ディレクター、パーソナリティと1人3役をこなしつつ、毎週、生放送でお送りしている子育て情報番組。子育て真っ只中のママならではの現在進行形のエピソードや話題、リスナーママ・パパから届く悩みを共有したり、時にはアドバイスしたりされたり…の参加型番組。大変なこともある子育てだけど、気分は、Happy×Happy(はぴはぴ)でお送りしています!

## フェミニストカウンセリング講座 実践コース 女性相談・支援のための電話相談員養成講座

今回は、フェミニストカウンセリングの視点を活かした女性相談・支援のための基本理論の講義に加え、演習を通して実践的に電話相談の対応を学びます。

女性の心理的問題の現状と社会背景を考え、問題の解決や回復を目指すフェミニストカウンセリング。あなたも一緒に学んでみませんか。  
※この講座は、フレンテみえ相談員募集のための講座ではありません。

日時:8月30日・9月13日・27日・10月11日・11月1日・22日・29日  
12月13日(すべて土曜日全8回) 各回とも13:00~16:00

場所:三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」内セミナー室A他

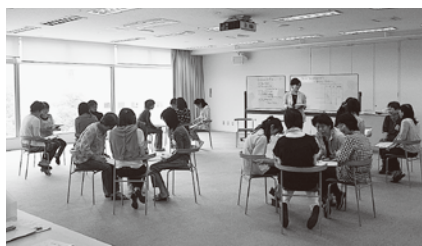
定員:24名【要事前申込・選考あり】

対象:女性のみ

受講料:16,000円

講師:具ゆりさん

(ウィメンズカウンセリング名古屋YWCAフェミニストカウンセラー)



## エンパワーメントスクール 女性のためのリーダーシップ・トレーニング

管理職やリーダーとして働く女性や、これから目指す女性たちを対象とした実践的リーダーシップ・トレーニングです。女性が管理職やリーダー職としてさらなるスキルアップを図るため、働く女性が置かれる現状を理解し、また、リーダーシップを発揮するために必要な知識の習得やワークショップを通して実践的に学びます。

日時:9月20日・10月4日・10月18日(すべて土曜日全3回)

各回とも10:30~15:30(最終日は12:30終了予定)

場所:三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」内セミナー室A他

定員:30名【要事前申込・先着順】

受講料:無料

講師:渋谷典子さん(特定非営利活動法人参画プラネット代表理事)他

協力:公益財団法人21世紀職業財団



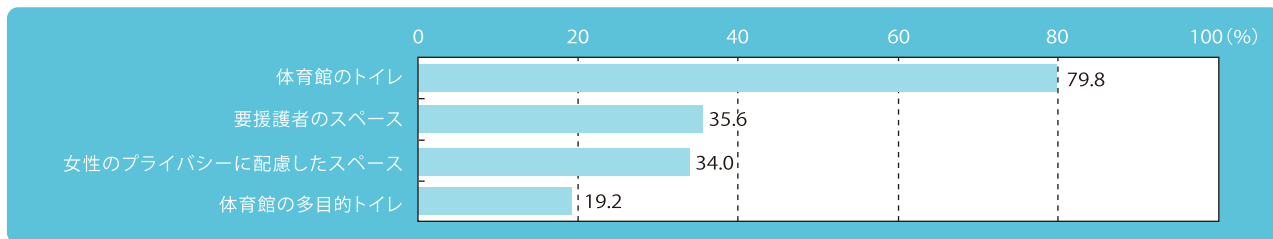
平成25年度  
調査研究

『男女共同参画の視点からの避難所活用モデル』を作成しました！

# いま、取り組むべきこと ～地域の防災力向上のために～

## 多様な視点が支える「だれもが安心・安全な避難所」

「避難所となる学校における防災関係施設・設備の整備状況」（平成25年版内閣府「男女共同参画白書」より）



国立教育政策研究所「学校施設の防災機能に関する実態調査」（平成24年）によると、全国の避難所に指定されている公立学校で、避難時に「女性のプライバシーに配慮したスペース」を確保できる割合は34.0%、およそ3校に1校となっています。

避難所では、仕切りや更衣室も設置されずにプライバシーが守られない状況が長く続くことも多く、そこから精神的な負担だけでなく、DVなど暴力や性暴力被害などにつながる可能性も高くなります。また、物資についても、生理用品などの女性用品や乳幼児用品などは不足しがちで、男女のニーズの違いや子育て家庭、高齢者、障がい者など多様なニーズに対して十分な配慮がなされない現状があります。

### 災害弱者への配慮は、すべての人の安心・安全に

災害時には「男性は力仕事・女性は炊出し」などと固定的な性別役割分担が強化され平時よりもさらに困難を強いられる傾向があり、これらを防ぐためには、平時時から様々な視点を反映した防災対策を協議・準備しておく必要があります。例えば…

- 避難所や避難者の情報収集に、男性だけでなく女性も派遣する
- 備蓄物資を女性、子ども、高齢者、障がい者の視点で見直す
- 自主防災の組織に、女性、障がい者、外国人なども参加する

このような取組から得た情報や人と人のつながりが、いざというときその地域の“防災力”となります。また、長引く避難生活の中で変化するニーズに対応できる体制づくりの基礎となります。

皆さんの地域の“防災力”はいかがですか？

参考：「男女共同参画の視点で実践する災害対策 テキスト 災害とジェンダー（基礎編）」東日本大震災女性支援ネットワーク

「男女共同参画の視点からの災害発生時における施設職員対応モデルおよび施設避難所活用モデル」三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」※フレンテみえホームページからダウンロードできます。

## フレンテみえって、なに？

三重県の男女共同参画社会を推進する拠点施設として津市の三重県総合文化センター内に平成6年オープン。情報発信・研修学習・相談・調査研究・参画交流という「5本の柱」で、様々な事業を展開しています。ぜひ皆さま、お気軽にお立ち寄りください！

～詳しい情報はホームページまで～

フレンテみえ

検索

生き方・家族・人間関係・離婚・職場 などなど…  
男女がともに自分らしく生きるために、様々な悩みの相談をお受けします

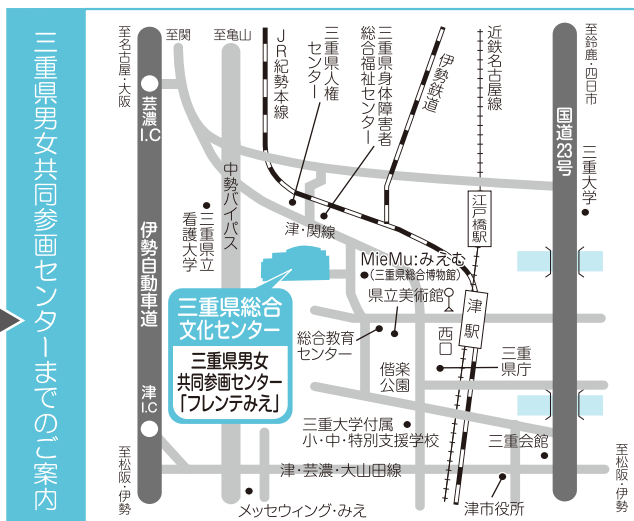
**女性のための電話相談** 秘密厳守・相談無料

フレンテみえ相談室 **専用ダイヤル 059-233-1133**

相談時間	曜日	月	火	水	木	金	土	日
朝 9:00～12:00	休館日 ※	●	●	●	●	●	●	●
昼 13:00～15:30		●	—	—	●	●	●	●
夜 17:00～19:00		—	—	●	—	—	—	—

※ 祝日の場合「朝・昼」相談あり（翌平日が休館日）

フレンテみえ相談室のご案内  
(切り取ってご利用ください)



休館日 毎週月曜日  
年末年始 (12月29日から1月3日まで)

交通 ■バス/津駅西口1番のりばから約5分  
■徒歩/津駅西口から約25分  
■家用車/伊勢自動車道雲濃インターから約15分、津インターから約10分  
※駐車場は1400台(無料)。できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

発行 三重県総合文化センター  
三重県男女共同参画センター フレンテみえ  
〒514-0061 三重県津市一身田上津部田1234番地  
TEL:059-233-1130 FAX:059-233-1135  
URL <http://www3.center-mie.or.jp/center/frente/>  
E-mail: frente@center-mie.or.jp

再生紙を使用しています。

Design: Graphica